

| 科目名：人間関係（領域） （必修1単位） | | 担当教員名：松本恵美 阿部真樹子 | 使用テキスト：出版社名・テキスト名 ＜領域＞人間関係ワークブック（萌文書林） |
|--|-------------------------------------|---|---|
| | | 担当形態：オムニバス | |
| 科目 | 領域及び保育内容の指導法に関する科目 | 施行規則に定める科目区分又は事項等 | 領域に関する専門的事項 人間関係 |
| <p>授業の到達目標及びテーマ：</p> <p>幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解し、幼児期の人間関係の発達について、幼稚園生活における関係発達論的視点から理解する。</p> | | | |
| <p>授業の概要：</p> <p>幼児を取り巻く人間関係の変遷を戦後から年代ごとに事例に基づき考察し、現代的課題を理解し未来への問題提起を行う。幼稚園教育において育みたい資質能力を領域「人間関係」の視点から考察し、学生各自の人と関わる力との関連についてグループで話し合う。人間関係領域の専門性に関わる最新の知見に基づき、集団の中で見られる具体的な幼児の姿や幼児同士の関係の発達について映像資料や事例を通して理解を深める。領域「人間関係」を意識した指導計画の作成とそれに基づく模擬保育を行うことで実践力を養う。</p> | | | |
| 回 | 項目 | 内 容 | |
| 1 | 領域「人間関係」における保育及び教育の目標 (阿部真樹子) | 幼児を取り巻く人間関係について戦後からこれまでの変遷を学び、グループで現代的課題についてディスカッションする。その上で領域「人間関係」における教育・保育の基本と目標を理解する。 | |
| 2 | 領域「人間関係」におけるねらいと内容 (阿部真樹子) | 幼稚園教育要領などの領域「人間関係」におけるねらいと内容について学ぶ。保育内容のねらい及び内容は園生活全体を通しての長期的展望に基づくものであるという点を押さえ、5領域が関連し合っていることを事例を通して学び、その中でも「人間関係」は5領域の基礎となるものであることを理解する。 | |
| 3 | 乳幼児期の育ちと領域「人間関係」 (松本恵美) | 乳幼児期における発達に関する基礎知識について、愛着形成や自我の形成といった人との関わりに関する側面を中心に学ぶ。愛着や自我がどのように発達していくのか、発達に伴い周りの人々との関わり方がどのように変化していくのか、保育者としてどのような対応が求められるかなどについて理解する。 | |
| 4 | 心の理解の発達：自分の心への気づきと他者の心の理解 (松本恵美) | 他者との関わりの中で、子どもたちの自己意識や他者理解がどのように発達していくのかについて学ぶ。また、集団生活の中で子どもたちがどのように「自己主張」や「自己制御」といった自分の気持ちを調整する力を育てていくのかについても学び、保育者としてどのような援助ができるかについて考える。 | |
| 5 | ルールのある遊びと保育者の援助 (松本恵美) | 保育の中でルール遊びを展開する際の進め方や工夫について学ぶ。事例を取り上げ、子どもの年齢や行動特徴に合わせた環境の構成や遊びの展開、保育者の配慮や工夫について理解する。 | |
| 6 | 仲間との関わりと発達 (阿部真樹子) | 自己調整力の育ち、道徳性や規範意識の芽生えについて学ぶ。幼稚園で子どもたちがとる言動について多くの事例をあげ、学生自身が保育者であったらどのように判断するか、子どもが納得できる理由も考える。 | |
| 7 | 遊びの中での人との関わりと保育者の役割① (阿部真樹子) | 一人遊びから保育者との遊び、さらに友達との遊びへと変化を遂げる中で、子どもたちが葛藤や困難を乗り越えて「生きる力」を育んでいくことを事例に基づきながら学ぶ。その中で集団において子ども同士でイメージを共有できることが大切であることを学び、そのために保育者にはどのような役割があるのかを学ぶ。イメージして伝えるというワークを行い、 | |

| | | |
|---|---------------------------------|--|
| | | イメージの共有にとって重要なことは何かをそれぞれ発表する。 |
| 8 | 遊びの中での人との関わりと保育者の役割② (阿部真樹子) | 遊びの中での自己主張・葛藤・育ち合いについて事例をあげ、保育者はどこまで介入すべきかなど役割について考える。「話し合って振り返る」ワークをグループで行い、「葛藤」と「ジレンマ」について考える。 |
| 9 | 遊びの中での人との関わりと保育者の役割③ (阿部真樹子) | 友だちと協同して遊ぶ経験や様々な遊びの経験を通しての子どもの育ちを事例を通して学ぶ。小学校での生活は乳幼児期の育ちを基盤としており、幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が小学校へつなぐ育ちであることを理解する。保育者は小学校との連携を踏まえた視点が必要であることを学ぶ。 |
| 10 | 遊びの中での人との関わりと保育者の役割④ (阿部真樹子) | 認定こども園での見学を実施し、集団の遊びの中で子どもたちがどのように成長しているのかを学ぶ (年少・年中クラス)。 |
| 11 | 遊びの中での人との関わりと保育者の役割⑤ (阿部真樹子) | 認定こども園での見学を実施し、集団の遊びの中で子どもたちがどのように成長しているのかを学ぶ (年長クラス)。 |
| 12 | 遊びの中での人との関わりと保育者の役割⑥ (阿部真樹子) | 認定こども園での見学からの学びをグループでディスカッションし、グループ毎のまとめを発表する。 |
| 13 | 人との関わりが難しい子どもへの支援 (阿部真樹子) | 集団生活が困難な子どもの背景についてどのような要因が潜むかを学ぶ。事例を通してどのように対応し、支援すべきかを探求する。保育のインクルージョン、支え合う関係づくりが子どもを育てることを学ぶ。 |
| 14 | 人との関わりが難しい子どもへの支援 (阿部真樹子) | 集団生活が困難な子どもの中で、特に発達障がいと診断されている子どもについての理解を深める。どのような困難を抱えているのか、どのような支援が求められるかをグループでディスカッションする。 |
| 15 | まとめ (阿部真樹子) | 第1回で現代的課題をディスカッションしたことについて、これまでの授業を通して各自の学びや新たに見出した課題などを発表する。 |
| | 期末試験 | |
| <p>参考書・参考資料：</p> <p>幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 保育所保育指針 (平成29年3月告示)</p> <p>保育現場の人間関係対処法 (中央法規) 保育園・幼稚園のちょっと気になる子 (ぶどう社)</p> <p>保育者のためのコミュニケーション・トレーニング BOOK (ぎょうせい)</p> <p>発達障がい児の保育とインクルージョン (大月書店) 0歳児から5歳児行動の意味とその対応 (小学館)</p> | | |
| <p>学生に対する評価方法：</p> <p>期末試験、模擬保育、レポート等による総合評価</p> | | |